



関大メディカルポリマー実践講座

—産学共創による社会実装を目指して—

オンライン講義 (Zoomウェビナー)
無料

関大メディカルポリマー事業では、ポリマー研究をベースに科学的に裏付けられた「人に効く」「人に優しい」医療機材を「人に届ける」ために、様々な医療機関や企業と共に未来医療の創出を目指しています。本講座では、この分野で関わる研究者、技術開発者に向けて、ポリマー研究の基礎知識とメディカルに特化した技術開発の実用案等を紹介します。

日時 2022年 3月 8日 (火) 13:00~15:20

会場 オンライン開催 (Zoomウェビナー)

定員 100名 (3月4日迄にお申込みください)

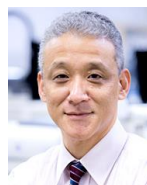
講座内容

1. 「生分解性インジェクタブルポリマーの設計と癒着防止・細胞治療への応用」

大矢 裕一 (関西大学 化学生命工学部 教授)

先端科学技術推進機構 関大メディカルポリマーセンター長)

体温に応答してゾル (溶液) からゲルへと転移する生分解性ポリマーは、インジェクタブルポリマー (IP) として、薬剤配送システムや再生医療などへの応用が期待されている。特に最近我々は、ゲル化時に共有結合を形成して体内でのゲル状態維持期間を自在に調節できるIP製剤や、組織接着性を高めたIP製剤を開発した。本講演では、それらの分子設計と癒着防止材、脂肪由来幹細胞による細胞治療などへの応用について紹介する。



2. 「ペプチドによる細胞の周辺環境の制御」

平野 義明 (関西大学 化学生命工学部 教授)

再生医療は細胞の働きと細胞周辺の環境の制御を活用した新たな治療方法である。臨床へと進めるには、細胞の分化・増殖・機能発現、構造体化などを精密に制御する技術と材料が重要である。そこで、ペプチドを用いて細胞周辺環境を整備することで、細胞機能をコントロールする材料の開発に取り組んできた結果を発表する。



3. 「骨を標的としたポリマー医薬の開発」

岩崎 泰彦 (関西大学 化学生命工学部 教授)

骨の健全化は健康寿命の延伸と密接に関わっており、人口の高齢化が進行する現在において極めて重要な課題である。本発表では、骨に親和性を有するポリリン酸エステル (PPE) に焦点を当て、PPEの分子設計・合成、基礎物性、さらに、骨疾患治療への展開を目指した試みについて議論する。



お申込み 下記URLのPeatixからお申込みください。

<https://kandai-medicalpolymer-seminar.peatix.com>



■お問い合わせ: 株式会社COPELコンサルティング (講座運営事務局)
E-mail event@copelcs.jp

<主催> 関西大学先端科学技術推進機構
株式会社COPELコンサルティング (再生医療・メディカルデバイス用材料講座 企画・運営)